

一期生・二期生の先輩方の合格・内定体験記

◇ 鹿児島県立短期大学 文学科 英語英文学専攻

二期生:文理科(末吉中出身)

私は大学受験という大きな経験ができたことに感謝したい。大学受験を通して、自分の周りには応援してくれる人がたくさんいるのだということを実感した。そして何より、自分自身が大きく成長することができた。

受験期はとてもハードで、勉強漬けの毎日だった。平日は朝5時半に起きて1時間勉強。朝7時に登校して朝課外まで苦手科目の勉強。授業を受けて、放課後は学校が閉まるまで勉強。帰って来て寝る前まで勉強。休日は学校で1日中勉強。進路を考えると、不安で心が折れそうになるくらい苦しかった。自分の限界への挑戦だった。

そんな日々を乗り越えることができたのは、周りにいるたくさんの人のおかげだと思う。まずは両親に感謝したい。朝早くから夜遅くまで、私の勉強に付き合ってくれてくれた。私の体調を一番に考えて、どんなに寒い日でも送り迎えを欠かさずしてくれた。模試の結果に落ち込んだときは励ましてくれた。自分のことのように一生懸命になってくれた。学校でも、たくさんの人に支えられた。先生方からは、朝早くから苦手科目の個別指導やたくさんの温かいアドバイスを頂いた。クラスの仲間とは、お互いに苦しいときは支え合ったり、笑わせ合ったりしながら、苦しみや不安を吹き飛ばしてきた。家族だけでなく、自分の周りにはいるすべての人が自分を応援してくれているということを、何度も実感することができた。両親にも、先生方にも、仲間にも、心から感謝している。

後期試験まで挑戦した結果、志望していた大学には届かなかったが、悔しさとともに得たこの1年間の大きな経験を活かして、これまで支えてくれたすべての人に恩返しできるように、これからも前を向いて突き進んでいきたい。

◇ 鹿児島県立農業大学校 畜産学部 肉用牛科

二期生:畜産食農科(牧之原中出身)

私が志望した理由は2つあります。1つ目は、幼い頃から肉用牛生産農家である祖父に憧れ、中学2年生の頃から「自分の手で肉用牛を育てたい」という思いがあったからです。2つ目は、高校1年生のときに行われた視察研修で農業大学校を訪問したことがきっかけでした。農業大学校の大きな特徴である「作物や家畜の管理はすべて生徒自身で行う」ということが、私にいちばん合っているのではないかと思えるようになりました。

そして入学の思いが強くなったのが高校2年生の1学期ぐらいでした。その決断をした日から勉強の毎日でした。私は推薦入試を希望しました。試験内容は数学I, 小論文, 面接でした。しかし、私は数学が苦手なため、少しでも克服ができるようまず定期考査でモチベーションを上げることから始めました。そして、入試の過去問題を解き、出題される傾向を掴んでいきました。解らない問題があれば、先生方に教えてもらいました。小論文と面接も受験報告書を参考にして傾向を確認し、何度も書き、場数をたくさん踏み、自分に自信をつけていきました。先生方からたくさんのアドバイスを頂きました。

私は試験日まで、不安と焦りの毎日でしたが、支えてくれた家族や友人、先生方への感謝を胸に、落ち着いて試験に臨むことができました。

後輩の皆さん、試験に向けて何度も練習し、失敗を繰り返して、本番で最大の力を出し切れるように頑張ってください。

◇ 福岡医療秘書福祉専門学校

一期生:普通科(末吉中出身)

皆さん、将来の夢は決定していますか？これから受験生として一歩踏み始める皆さんに私が大切だと思ったことを3つ紹介したいと思います。

1つ目は、視野を広げ、目標を立てることです。私は将来の夢をなかなか決定することができませんでした。皆さんの中にも悩んでいる人がたくさんいると思います。まずは、できるだけ多くのオープンキャンパスに行くことが大切です。大学に行く予定のない人も大学に行ってみたり、今自分が関心のない分野も目を向けてみたりすることで、やりたいことが見つかると思います。そしてできるだけ早くスタートできるように目標を立ててみてください。

2つ目は、協力することです。私は受験に面接がありました。最初は文の構成がまとまらず、行き詰っていました。しかし、文の構成に自信がないときに国語が得意な友人を頼ったり、友人に面接官になってもらい面接練習をしたりしたことで、少しずつ自信がついてきました。また、試験の前日にはクラスメイトから多くの励ましの手紙をもらい、心の支えとなりました。

3つ目は、勉強です。受験生として勉強することは当たり前ですが、受験生になってからは手遅れになります。1年生の頃からのテストの成績が受験に反映します。一つ一つのテストを大切に受験に向けて頑張ってください。